



いわいずみ獣害カレンダー

(製作)岩泉町役場農林水産課
岩泉猟友会

これまで人身被害があった月(岩泉町)

クマ(ツキノワグマ) / 岩泉町の山の中で一番強い動物。鋭い爪と牙、強力なあごと腕力がある



月	クマの暮らし	人の暮らしへの影響 (主な被害例・岩泉町)	私たちができること (主な注意事項と防除方法)	町による主な対策			
4月	冬眠から目覚め、餌を探して山や里に現れる	◎家畜飼料、廃棄農産物をあさりに来る ◎家畜が襲われる事例あり	家庭 ●残飯を外へ放置しない 田畑 ●家畜の餌は頑丈な施設内へ ●家畜の食べ残しは片づける ●畜舎の戸締り ●廃棄農産物を放置しない	●クマ鈴の携帯 ●複数人で行動	現地確認 見回り(目視、監視カメラ、ドローン) 追い払い 周辺周知広報 有害鳥獣捕獲の実施(隊員による)		
5月	山菜類を食べる (バツケ、アイコ、タケノコなど)	◎山菜採り、とりわけタケノコ採りで遭遇、襲われる	●コンポストの利用を控える	●草むらの刈り払い ●不要な果樹の除去 ●果樹周辺の刈り払い	●山仕事などで弁当、食べものを見えるところに放置しない ●山仕事ではクマの足跡に注意し、遭遇を避ける	〈補助します〉 電気柵、防護柵の 購入費用の一部	
6月	フキ、木イチゴ類、果実類を食べる (クワイチゴ、バライチゴ、クマイチゴ、サクラの実、サクランボ、ブルーベリーなど) 蜂の巣、蜂蜜も餌にする 親子熊は子離れの季節	◎民家周辺での目撃、遭遇が急増し、人的被害の危険が高まる ◎住宅街での居座りが発生することも	●電気柵の設置 ●防護柵の設置	●シカ・イノシシ用くくり罠に近づかない(錯誤捕獲やクマが近くにいる危険あり)	●山仕事などで弁当、食べものを見えるところに放置しない	詳しくは岩泉町役場農林水産課へお問合せください ☎ 22-2111 (内線 542)	
7月	山の餌が乏しく、お腹をすかせている	◎農作物の被害増大 (トウモロコシ類、モモ、ブルーベリー、リンゴ、蜂の巣、家畜用飼料)	●枝折れに注意を払い、遭遇を避ける	●草むらの刈り払い ●不要な果樹の除去 ●果樹周辺の刈り払い	●山仕事などで弁当、食べものを見えるところに放置しない	各種相談、通報は下記へ	
8月	山の餌が最も乏しく、餌を求めて里に現れる。アリアバツタを食べるに草地にも現れる	◎飼料用トウモロコシの被害増大 ◎草地、畑まわりでの遭遇の危険も高まる ◎畜舎、飼料タンク周辺での居座りも	●電気柵の設置 ●防護柵の設置	●シカ・イノシシ用くくり罠に近づかない(錯誤捕獲やクマが近くにいる危険あり)	●山仕事などで弁当、食べものを見えるところに放置しない	●山仕事ではクマの足跡に注意し、遭遇を避ける	●山仕事などで弁当、食べものを見えるところに放置しない
9~10月	山の木の果、果実を餌にする (シタクチ、クリ、ヤマブドウ、ドングリ、ブナの実) 山の実りが少ない年は里へやってくる	◎デントコーンを中心に被害が続く ◎キノコ採りが盛んになり、山での遭遇が増える ◎リンゴ畑に居座る事例あり	●電気柵の設置 ●防護柵の設置	●シカ・イノシシ用くくり罠に近づかない(錯誤捕獲やクマが近くにいる危険あり)	●山仕事などで弁当、食べものを見えるところに放置しない	●山仕事ではクマの足跡に注意し、遭遇を避ける	●山仕事などで弁当、食べものを見えるところに放置しない
11月	冬眠前の食いだめの時期 冬眠場所を探して遠くへ移動する	◎山の餌が少ない年は里に居座る ◎林内作業で冬眠前後のクマと遭遇する	●電気柵の設置 ●防護柵の設置	●シカ・イノシシ用くくり罠に近づかない(錯誤捕獲やクマが近くにいる危険あり)	●山仕事などで弁当、食べものを見えるところに放置しない	●山仕事ではクマの足跡に注意し、遭遇を避ける	●山仕事などで弁当、食べものを見えるところに放置しない
12~2月	冬眠穴は木の穴、根ふくれ、岩の下、ほら穴など メスは冬眠中に子を産む(毎年ではない)	冬眠する 12月初旬~中旬が基本だが、餌が豊富な年は冬眠時期が遅くなり、餌が乏しい年は早く冬眠に入る	●電気柵の設置 ●防護柵の設置	●シカ・イノシシ用くくり罠に近づかない(錯誤捕獲やクマが近くにいる危険あり)	●山仕事などで弁当、食べものを見えるところに放置しない	●山仕事ではクマの足跡に注意し、遭遇を避ける	●山仕事などで弁当、食べものを見えるところに放置しない
3月	冬眠から目覚める(中ごろ~)	林道などで足跡を見かけるようになる	●電気柵の設置 ●防護柵の設置	●シカ・イノシシ用くくり罠に近づかない(錯誤捕獲やクマが近くにいる危険あり)	●山仕事などで弁当、食べものを見えるところに放置しない	●山仕事ではクマの足跡に注意し、遭遇を避ける	●山仕事などで弁当、食べものを見えるところに放置しない



シカ(ニホンジカ)

ササ、ドングリが好きだが、何でも食べて食べ尽くす

月	シカの暮らし	人の暮らしへの影響 (主な被害例・岩泉町)	私たちができること (主な注意事項と防除方法)
4月	日当たりのよい草地などで草を食べる	◎フキノトウ、牧草などの食害	●田畑周辺の刈り払い ●家や田畑周囲には、シカが好む草木が増えやすい(クズ、低木類)
5月	木々の芽吹きとともに青菜を食べる	◎タラコ、シドケ、ウルイ、ワサビ、水稻苗、牧草、花壇やプランターの花など(食害)	●山に入る際には、長袖長ズボンを着用 ●ベットにもダニ除け
6月	沢辺や林道脇のフキを好む。毛変わり(オスもメスも)のこになる。子が生まれる	◎フキ、ミズ、マメヤデントコーンの新芽、家庭菜園(食害)	●電気柵、防護柵の設置 電気柵は下段から40センチ、70センチ、100センチ、150センチが基本
7月	山の青菜類、草類を食べる	◎牧草畑(食害)	●飛び出しには自己防衛を
8月	オスの角が伸びきる(毎年4月から伸びはじめる)	◎繁殖期(〜11月末頃) オスの行動が活発化する	●飛び出しには自己防衛を
9~10月	物音に敏感 ・高い声で鳴く(朝夕) ・泥浴びをする(全身黒くなる) ・徘徊 ・角とぎ	◎マツタケ、キノコ、クリ、コメ、豆類(食害)	●飛び出しには自己防衛を
11月	ドングリ、枯れ葉を食べる	◎マツタケ、キノコ、クリ、コメ、豆類(食害)	●飛び出しには自己防衛を
12~2月	雪を掘ってドングリや落ち葉、さらに樹皮を食べる	◎山では樹皮はぎ、苗木、幼木への食害がすすむ ◎山の荒廃 ◎牧草畑の掘り返し(餌探し)	●飛び出しには自己防衛を
3月	秋に移動したシカが元の地域へ戻る。オスの角が落ちる	◎山では樹皮はぎ、苗木、幼木への食害がすすむ ◎山の荒廃 ◎牧草畑の掘り返し(餌探し)	●飛び出しには自己防衛を

町による主な対策 ※シカ・イノシシ共通
電気柵、防護柵の設置への補助/有害鳥獣捕獲の実施(隊員による)



イノシシ(ニホンイノシシ)

普段はオスは単独、メスは群れで行動。掘り起こしや踏み荒らし、牙による攻撃も問題。捕えにくく防除が重要

月	イノシシの暮らし	人の暮らしへの影響 (主な被害例・岩泉町)	私たちができること (主な注意事項と防除方法)
4月	山林やヤブで身をひそめて生活し、餌を求めて里やつてくる 味を覚えると田畑や民家付近に棲みつようになる	◎ウド、ワラビ、クズの根の食害と周辺の掘り起こし ◎田のくろ、畑、堆肥の掘り返し(通年でミミズ、ゴイゴイ、カエルなどを探す) ◎植え付け後のイモ類(食害)	●田畑周辺の刈り払い クズ、ススキ類の刈り払いを重視 低木類は、イノシシの目線より低い地上60センチまでを枝払い ●電気柵、防護柵の設置 電気柵は下段20センチ、中段40センチ、上段70センチが基本
5月	子が生まれる(4月末~6月)。一回の出産で通常4~5頭生まれる。 前年に生まれた雄の子が群れ離れる。(雌は群れで、雄は単独でくらす)	◎田のくろ、畑、堆肥の掘り返し(通年でミミズ、ゴイゴイ、カエルなどを探す) ◎植え付け後のイモ類(食害) ◎畑の掘り起こし ◎タケノコを好み竹やぶにあらわれる。タケノコの食害やタケノコ採りの際の遭遇に注意が必要	●田畑周辺の刈り払い クズ、ススキ類の刈り払いを重視 低木類は、イノシシの目線より低い地上60センチまでを枝払い ●電気柵、防護柵の設置 電気柵は下段20センチ、中段40センチ、上段70センチが基本
7月	山の餌が少なく、土中の虫を探して畑に現れる	◎野菜畑の掘り起こし、食害 ◎畑周辺や耕作放棄地の掘り起こし	●田畑周辺の刈り払い クズ、ススキ類の刈り払いを重視 低木類は、イノシシの目線より低い地上60センチまでを枝払い ●電気柵、防護柵の設置 電気柵は下段20センチ、中段40センチ、上段70センチが基本
9月	山ではクマやドングリなどを食べる 里では稲、トウモロコシ、豆類を好む	◎稲、豆類、トウモロコシ類(食害) ●電気柵、防護柵の設置 電気柵は下段20センチ、中段40センチ、上段70センチが基本	●田畑周辺の刈り払い クズ、ススキ類の刈り払いを重視 低木類は、イノシシの目線より低い地上60センチまでを枝払い ●電気柵、防護柵の設置 電気柵は下段20センチ、中段40センチ、上段70センチが基本
12月	クリスマス頃から繁殖期。オスが広範囲で移動したりオス同士の争いもある(〜2月頃) 雪下や土中の餌を探す	◎稲、豆類、トウモロコシ類(食害) ●電気柵、防護柵の設置 電気柵は下段20センチ、中段40センチ、上段70センチが基本	●田畑周辺の刈り払い クズ、ススキ類の刈り払いを重視 低木類は、イノシシの目線より低い地上60センチまでを枝払い ●電気柵、防護柵の設置 電気柵は下段20センチ、中段40センチ、上段70センチが基本
3月		◎稲、豆類、トウモロコシ類(食害) ●電気柵、防護柵の設置 電気柵は下段20センチ、中段40センチ、上段70センチが基本	●田畑周辺の刈り払い クズ、ススキ類の刈り払いを重視 低木類は、イノシシの目線より低い地上60センチまでを枝払い ●電気柵、防護柵の設置 電気柵は下段20センチ、中段40センチ、上段70センチが基本

岩泉町でのイノシシ被害はこの数年で拡大し今後の拡大が懸念されていますが、町内におけるイノシシの生態や被害についてはわからない事も多いです。今後の対策のために、目撃情報、被害情報を町にお寄せください

~ 動物たちの暮らしと私たちの生活の関係をよく知り、よりよい暮らしを目指しましょう ~

担当課・問い合わせ・相談窓口
岩泉町役場農林水産課 ☎ 22-2111 (内線 542) ※土日祝日もご連絡ください
岩泉町鳥獣被害対策実施隊 (連絡先等は岩泉町役場農林水産課及び地域の実施隊員へお問合せください)
※岩泉町鳥獣被害対策実施隊は、岩泉猟友会が推薦し町の任命を受けた同猟友会員で、要請に応じて町内の野生鳥獣の追い払いや駆除を行っています